



東区社協だより 107号

2023.3

ふれあいの窓



福祉除雪事業へのご協力ありがとうございます！！

福祉除雪事業は、戸建住宅にお住まいの除雪することが困難な高齢者や障がい者世帯を対象に、「地域協力員」（地域住民・企業・団体等）の協力のもと、間口及び玄関前通路等を除雪し、同時に声かけ・安否確認をすることを目的として実施しています。



令和4年度は、東区にお住まいの681世帯（令和5年3月1日現在、途中解約含む）を対象に、昨年12月1日から活動いただいております。除雪という大変な活動を担い、冬期間の支え合い活動にご協力いただいている、「地域協力員」の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和4年度「地域協力員」の皆様

○各町内会、個人登録

鉄東地区の皆様 北光地区の皆様 北栄地区の皆様 栄西地区の皆様 栄東地区の皆様
元町地区の皆様 伏古本町地区の皆様 丘珠地区の皆様 札苗地区の皆様 苗穂地区の皆様

○東区災害防止協力会加盟企業

株式会社キース 様 株式会社木下工業 様 株式会社興陽技建 様 株式会社北舗 様
三兼建設工業株式会社 様 三道工業株式会社 様 杉原建設株式会社 様
東亜道路工業株式会社 様 安田興業株式会社 様 古木建設興業株式会社 様

○地域企業・団体

北国緑化株式会社 様 株式会社市川造園 様 株式会社JDC 様 株式会社SKY 様
株式会社創建 様 株式会社テクト 様 株式会社山吉 高島造園 様 株式会社リベラル 様
三綱・光和開発株式会社 様 北海道秋山造園株式会社 様 日鋼道路整備株式会社 様
若濱工業 様

社会福祉法人 札幌市東区社会福祉協議会

〒065-8612 札幌市東区北11条東7丁目 東区民センター1階
(電話) 011-741-6440 (ファックス) 011-721-6444

札幌市社会福祉協議会との 法人合併について

平成元年9月8日、札幌市東区社会福祉協議会は、任意団体としてその産声をあげました。その後、平成6年10月7日には社会福祉法人格を取得し、以降、地域の皆様方と共に地域福祉の推進に努めてまいりました。



この頃は、全国的に一人暮らし高齢者等の孤独死が社会問題となり、その対策として、地域福祉の必要性が叫ばれていた時期でもありました。

当時の広報誌には、今ではすっかり定着した福祉除雪の前身である「除雪サービス(ボランティア)事業」の記事が掲載されていました。

写真は、長屋風の家屋を除雪している若い人達の様子です。昔から脈々と続く地域の支え合いですが、こちらの方々も既に50歳代でしょうか。

法人格の話に戻りますと、当時は全国社会福祉協議会が法人格取得を広く推奨し、多くの社協が社会福祉法人になっています。理由としては、補助の受け皿として法人格が必要だったこと、広く寄附を募るにあたり税控除できること等がありました。勿論、社会から信頼される団体として、地域とともに福祉の充実を図るという存在意義がその根底にあったことは間違いありません。



平成の時代も折り返した頃、さいたま、静岡、新潟といった新たな政令指定都市が誕生します。当然、新たに区が設置されたものの、区社会福祉協議会が社会福祉法人を取得することはありませんでした。メリットが薄れるとともに、法人事務の煩雑さを避けたい考えもあったと思います。

また、近年になって、福岡や北九州といった都市においては、市と区による合併が断続的に行



われるようになってきました。全職員が市社協から派遣され、人件費を持たない法人という実態についても一部指摘されてきました。この法人合併の流れは、多くの都市で検討されています。

こうした背景に基づき、10区社会福祉協議会は、札幌市社会福祉協議会に吸収される形で、令和5年4月3日付で合併いたします。

上記の写真のように、地域に多くの笑顔が溢れるようにしていきたい、私たちが目指すコミュニティソーシャルワーク実現に向けて、変革の第一歩を進めてまいります。

東区福まちかわら版～コロナ禍の福まち活動紹介～

(鉄東地区福祉のまち推進センター)

ふれあい昼食会

毎年、年2回行われていた「ふれあい昼食会」。コロナ禍の影響で2年間休止していましたが、お弁当を持ち帰り自宅で食べていただく方法へ変更し、検温や消毒等の感染対策を行い実施しました。6月は、鉄東会館、むつみ会館、あわせて89名（福まち活動者も含む）の方が参加しました。

写真は、10月18日11時から「鉄東会館」で実施した様子です。（翌19日に「むつみ会館」でも実施。）

介護予防センターなえぼ職員のお手本にあわせて、さっぽろスマイル体操をしました。外出自粛や運動不足で心配されるフレイル予防を踏まえ、手や足をあげたり伸ばしたりと、心地よく運動することができました。また、地域包括支援センターから、冬本番を前に「インフルエンザ（コロナとの同時流行の懸念）」や「消費者被害」について講話があり参加者へ情報提供しました。



地区地域ケア会議（主催：介護予防センターなえぼ）



11月8日18時30分から「鉄東地区に広めよう！フレイル予防の知識」をテーマに実施されました。

フレイル予防のチラシ配架にご協力をいただいている事業所/店舗（調剤薬局、青果店他）の皆様のほか、福まちからも2名が参加（他に町内会や民生委員、包括等関係機関も参加）し意見交換が行われました。

『フレイル予防を広げる方法や協力店舗について』の意見交換では、鉄東地区の大きな地図の前に参加者が

集合し情報交換を行いました。

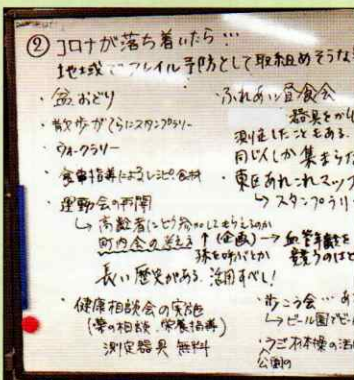
「〇〇店は、地域住民が家族連れでよく集っているよ。」

「病院は待ち時間があるから手に取ってもらえる可能性が高いのでは。」

「集合住宅では回覧ではなく掲示板への貼付けが多く、情報が届きにくい可能性がある。」

「〇〇分区周辺は商店が減っていて、買物に困る住民が今後増えるかもしれない。」

『コロナが落ち着いたら、地域で取り組みそうなアイデア』の意見交換では、歩こう会、健康相談会、ウォーキングラリーといったアイデアがでました。また、「鉄東地区のアレコレMAP」の更新が2月に予定されているという情報提供があり、MAPを活用したイベントができないかなどアイデアが出されました。



鉄東地区福祉のまち推進センターでは、感染対策を行いながら、行事や研修会などを徐々に再開しています。福まち活動者を対象とした「地域協力員バス研修」も実施され、ウポポイ（白老町民族共生象徴空間）に立ち寄り研修、交流を深めました。

地区福まちでは、「ふれあい昼食会」などのイベントや、見守り・訪問活動など、一緒に活動してくださる方も募集しています。

ぜひ、東区社会福祉協議会までご連絡ください。



東区福まちかわら版～コロナ禍の福まち活動紹介～

(鉄東地区福祉のまち推進センター)

ふれあい昼食会

毎年、年2回行われていた「ふれあい昼食会」。コロナ禍の影響で2年間休止していましたが、お弁当を持ち帰り自宅で食べていただく方法へ変更し、検温や消毒等の感染対策を行い実施しました。6月は、鉄東会館、むつみ会館、あわせて89名（福まち活動者も含む）の方が参加しました。

写真は、10月18日11時から「鉄東会館」で実施した様子です。（翌19日に「むつみ会館」でも実施。）

介護予防センターなえぼ職員のお手本にあわせて、さっぽろスマイル体操をしました。外出自粛や運動不足で心配されるフレイル予防を踏まえ、手や足をあげたり伸ばしたりと、心地よく運動することができました。また、地域包括支援センターから、冬本番を前に「インフルエンザ（コロナとの同時流行の懸念）」や「消費者被害」について講話があり参加者へ情報提供しました。



地区地域ケア会議（主催：介護予防センターなえぼ）



11月8日18時30分から「鉄東地区に広めよう！フレイル予防の知識」をテーマに実施されました。

フレイル予防のチラシ配架にご協力をいただいている事業所／店舗（調剤薬局、青果店他）の皆様のほか、福まちからも2名が参加（他に町内会や民生委員、包括等関係機関も参加）し意見交換が行われました。

『フレイル予防を広げる方法や協力店舗について』の意見交換では、鉄東地区の大きな地図の前に参加者が

集合し情報交換を行いました。

「〇〇店は、地域住民が家族連れでよく集っているよ。」

「病院は待ち時間があるから手に取ってもらえる可能性が高いのでは。」

「集合住宅では回覧ではなく掲示版への貼付けが多く、情報が届きにくい可能性がある。」

「〇〇分区周辺は商店が減っていて、買物に困る住民が今後増えるかもしれない。」

『コロナが落ち着いたら、地域で取り組みそうなアイデア』の意見交換では、歩こう会、健康相談会、ウォーキングラリーといったアイデアがでました。また、「鉄東地区のアレコレMAP」の更新が2月に予定されているという情報提供があり、MAPを活用したイベントができないかなどアイデアが出されました。

鉄東地区福祉のまち推進センターでは、感染対策を行いながら、行事や研修会などを徐々に再開しています。福まち活動者を対象とした「地域協力員バス研修」も実施され、ウポポイ（白老町民族共生象徴空間）に立ち寄り研修、交流を深めました。

地区福まちでは、「ふれあい昼食会」などのイベントや、見守り・訪問活動など、一緒に活動して下さる方も募集しています。

ぜひ、東区社会福祉協議会までご連絡ください。



あたたかいご寄付ありがとうございました

令和5年1月1日～2月27日 受付分

- 札幌市東区母子寡婦福祉連合会 様
(1月23日) 10,000円
- イトーヨーカドー労働組合札幌支部 様
(1月30日) 20,000円
※令和4年度2回目の寄付です。



イトーヨーカドー労働組合札幌支部 様

皆様から頂戴した善意は、地域の福祉活動（地域の見守り活動や孤立させない地域づくり）のために、有効に活用させていただきます。
寄付のお申し出につきまして、引き続きお待ちしております。

赤い羽根共同募金へのご協力のお礼

今年度、東区では、地域の皆様のご理解とご協力をいただき、総額 9,691,322 円（内訳：戸別募金 7,920,757 円、地域法人募金 1,542,557 円、街頭募金 228,008 円）の募金をお寄せいただきました。心より感謝を申し上げます。

お預かりした募金は、高齢・障がい・児童といった様々な分野の福祉施設・団体の活動や、地区社協やふれあい・いきいきサロンの活動費として、地域での住民参加型福祉活動にも活用されることになっています。

来年度も引き続きご協力くださいますようお願いし、報告いたします。



ボランティア活動保険について

令和4年度のボランティア活動保険の補償期間は、令和5年3月31日をもって終了いたします。4月1日以降も活動継続される場合は更新手続きをお願いいたします。

ボランティア活動保険は、おひとり様一口加入を原則としています。介護サポーターとして登録をされている方は、札幌市社会福祉協議会にて更新手続きを行いますので個人での更新手続きは不要です。この他、所属団体が一括して更新手続きを行う場合もありますので、団体に所属されている方は、所属先にお確かめの上更新手続きをお取りください。

新年度の保険受付は、令和5年3月15日より開始いたします。ご加入手続きの際は、お釣りのないよう保険料をお持ちくださいますようお願いいたします。